

第29回腎癌研究会プログラム

開催日:平成17年4月15日(金) 18:30~21:00(第93回日泌総会 会期中)

会場:ホテル日航東京1階 ペガサス(学会第1会場)

主 題:腎癌治療における常識は、本当に常識といえるのか? = ガイドライン作成を目指して =

シンポジウム(前半)

総合司会:中澤速和(東京女子医科大学)

1. 腎癌治療のガイドライン - 現状と意義 -

内藤誠二(九州大学)

2. テーマ1

初診時から遠隔転移を有する進行性腎癌において、原発巣切除は優先されるべきか?

進 行:篠原信雄(北海道大学)

金山博臣(徳島大学)

討議者(積極派):植村天受(近畿大学) 中本貴久(広島市立安佐市民病院)

野々村祝夫(大阪大学)

(慎重派):大家基嗣(慶應大学) 千賀 裕(茅ヶ崎市立病院)

津島知靖(岡山医療センター)

シンポジウム(後半)

テーマ2

免疫原性の高い癌であるため、転移巣治療においてサイトカイン療法が標準的治療とされているが、これは正しいか?

進 行:大園誠一郎(浜松医科大学)

早川正道(防衛医科大学校)

討議者(積極派):江藤正俊(九州大学) 水谷陽一(京都府立医科大学)

丸茂 健(東京歯科大学市川総合病院)

(消極派):木村 剛(日本医科大学) 堀江重郎(帝京大学)

永森 聡(北海道がんセンター)